

まちを創り・支え・彩る

—再開発・住宅市街地整備における都市基盤施設の役割—



I N F R A S T R U C T U R E



美しく安全で快適なまちづくり

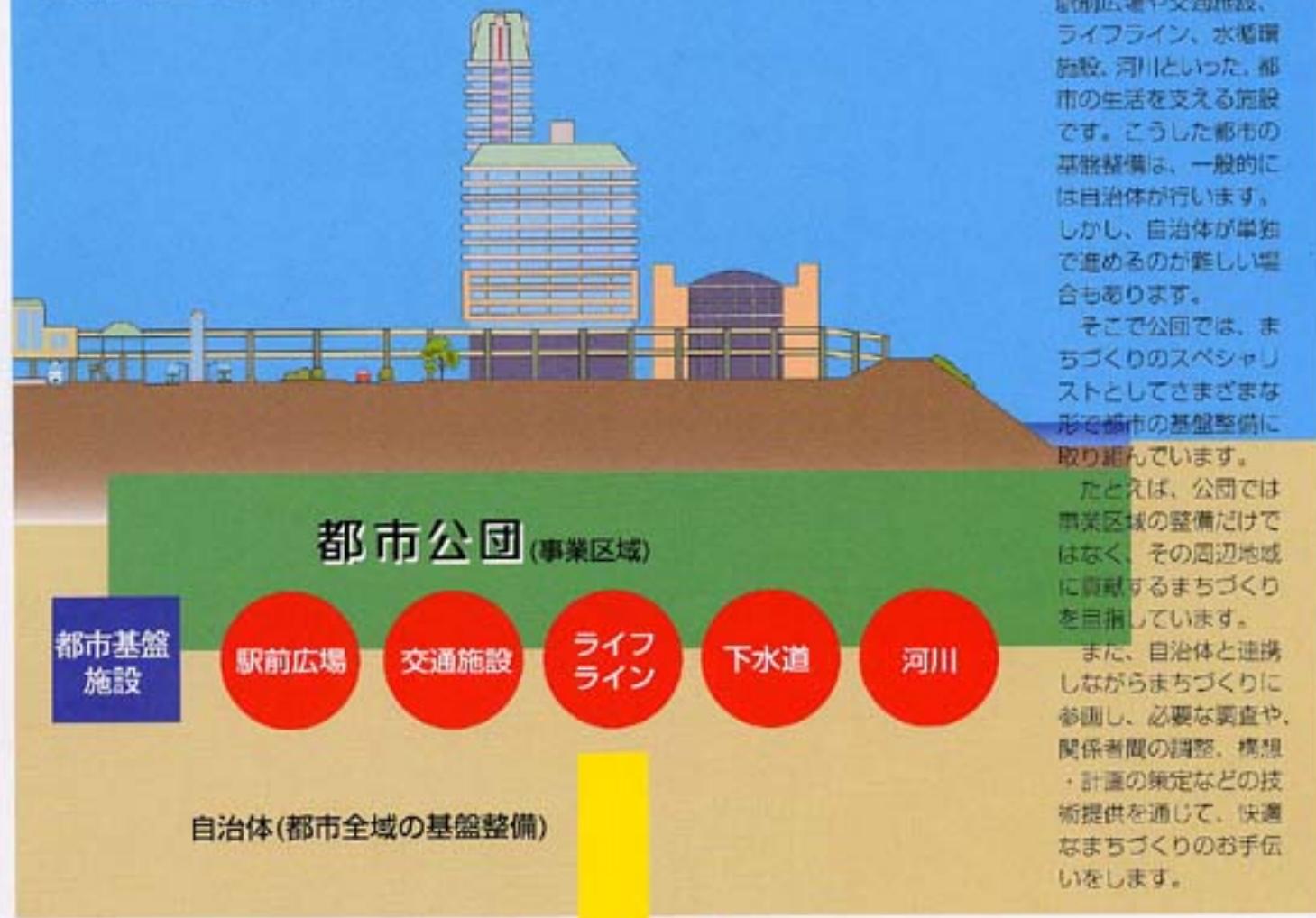


見えないところから都市を支える
私たち都市公団では都市基盤の整備を通じて
快適な暮らしを応援しています

未来に誇れる魅力あるまちづくり



事業区域と整備する都市基盤施設



都市基盤施設とは、駅前広場や交通施設、ライフルイン、水道施設、河川といった、都市の生活を支える施設です。こうした都市の基盤整備は、一般的には自治体が行います。しかし、自治体が単独で進めるのが難しい場合もあります。

そこで公団では、まちづくりのスペシャリストとしてさまざまな形で都市の基盤整備に取り組んでいます。

たとえば、公団では事業区域の整備だけではなく、その周辺地域に貢献するまちづくりを目指しています。

また、自治体と連携しながらまちづくりに参画し、必要な調査や、関係者間の調整、構想・計画の策定などの技術提供を通じて、快適なまちづくりのお手伝いをします。

まちづくりの視点

まちづくりに欠かせないのは、そこに住む人、育らす人の視点に立つことです。

公団では、5つのキーワードをいつも念頭に置いて、まちづくりに取り組みます。

環境

環境に配慮した
まちづくり

防災

防災性
向上のための
まちづくり

高齢化

高齢社会に
対応した
まちづくり

景観

良好な景観
形成等に
美しいまちづくり

高度 情報化

高度情報化に
対応したまちづくり

まちづくりと都市基盤施設の役割

都市基盤施設とは、文字通り都市の基盤を支える施設のことを目指します。たとえば、電気やガス、水道、通信ケーブルなどです。これらの施設は、生活に欠かせないことから「ライフライン」と呼ばれています。そのほか道路などの交通施設、駅前広場、河川、水の自然な循環を取り戻す施設なども重要な都市基盤施設です。それでは、さまざまな都市基盤施設の中から、公団が先導的に取り組んでいる施設をご紹介します。

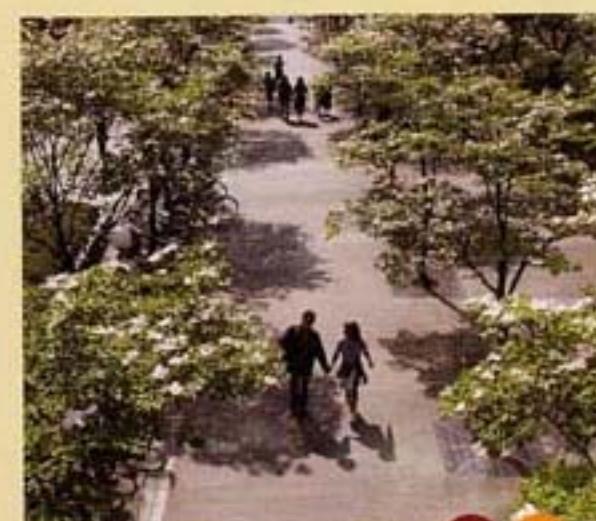
交通施設●Traffic Facilities



人にやさしい橋を架けて 地域を結びます

公園では、車道橋、歩行者専用橋など様々な橋を架けることにより、地域の利便性や快適性、回遊性を高めるための基盤整備を行っています。また、誰もが安全に利用できるよう勾配の緩やかなスロープを設けたり、周辺の景観にうまく溶け込みつつ地域のシンボルにもなるよう形状・色彩等にも配慮した設計を行っています。

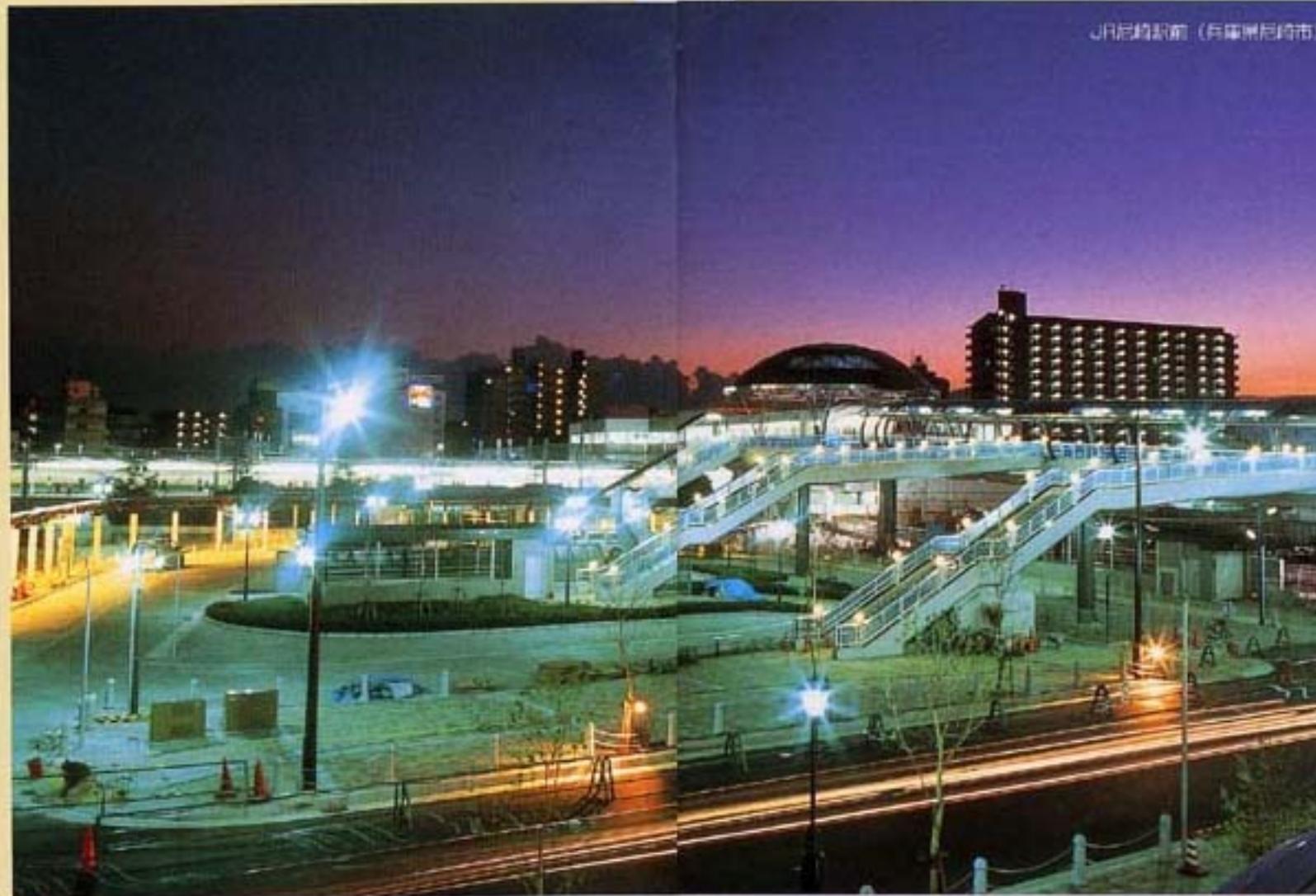
▲写真は品川八潮パークタウン「八潮橋」(東京都品川区)



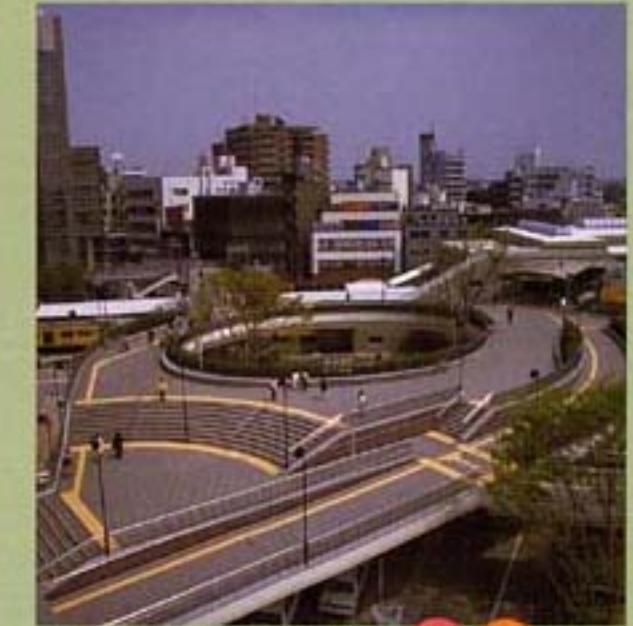
快適で安全な道路空間を 整備します

まちづくりにともなって、道路を整備します。壁の広い道路は、洗濯解消や延焼防止、緊急自動車の素早い進入などを実現します。また、無障害化などにより広々とした街路は、歩行者の安全な移動を支えるほか、快適な歩道になります。

▲写真はファーレ立川(東京都立川市)



JR北越前(兵庫県尼崎市)



交通環境や生活環境を 改善します

まちの玄関であるとともに、交通の結節点でもある駅は、とても重要な都市基盤施設です。ところが、多くの駅周辺では、交通渋滞や放置自ら車種の多様さなど様々な問題を抱えています。公団では、駅前広場や歩行者アッセなどと連携し、駅周辺の向上、交通の利便性、安全性の向上を図っています。

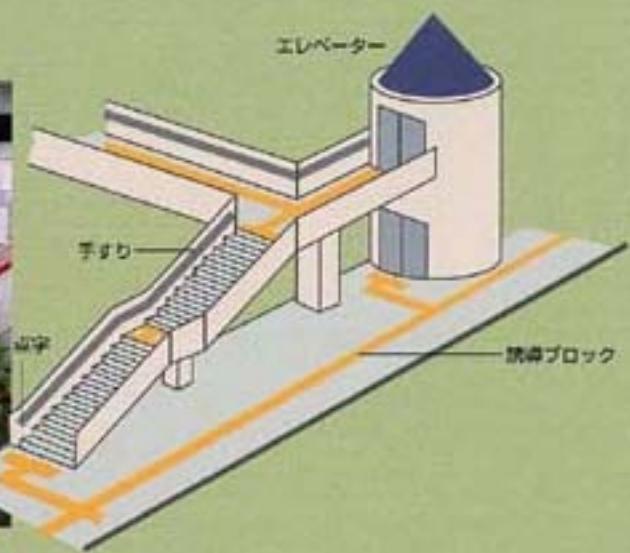
▲写真は大沢学園前(東京都練馬区)



お年寄りや 体の不自由な方はもちろん、 誰にでもやさしいまちを つくります

歩道から段差をなくしたり、統合ブロックを整備することはもちろん、人が多く集まる場所では、できる限りエレベーター、エスカレーターなどを設置します。

▲写真はJR武蔵境和田前(さいたま市南区)



まちづくりと都市基盤施設の役割

ライフライン ● Life Lines



ライフラインを守ります

電力、ガス、水道、通信などのライフラインを、道路の下にまとめて収容する共同溝を整備します。それにより、災害時にライフラインが寸断されるのを防げるほか、工事による掘り返しが解消されます。さらには、地上から電柱が消え、快適な空間が誕生するなど、さまざまな効果があります。

▲主な取り組み地区=ファーレ立川（東京都立川市）等

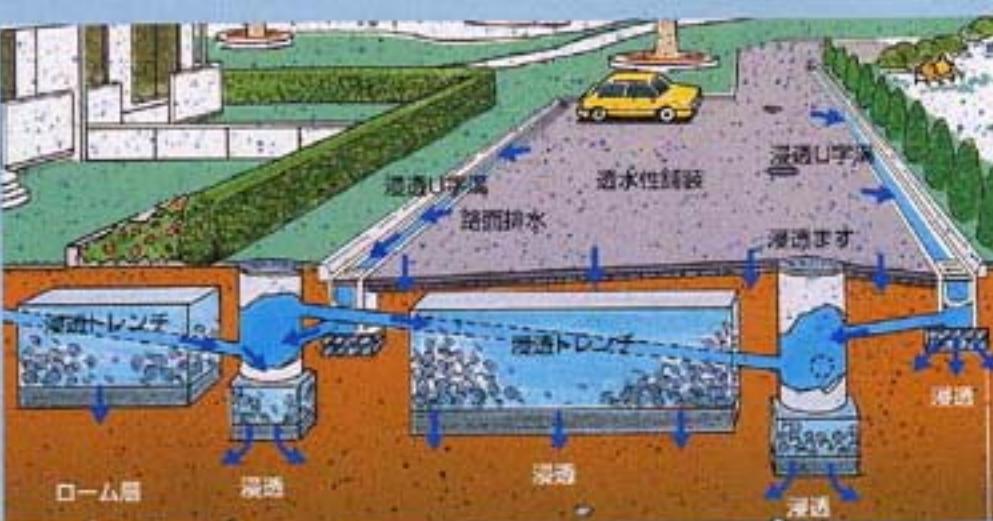
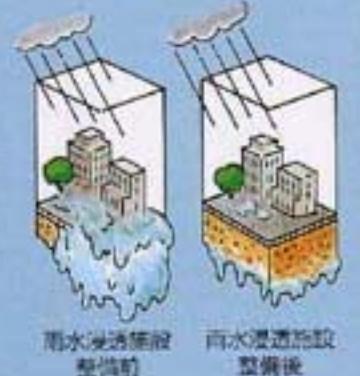


下水道 ● Sewerage

水の自然な循環を取り戻します

雨水がしみ込む舗装や、雨水が地下に浸透する路盤などを整備し、コンクリートで覆われた都市で失われがちな「自然な水循環」を取り戻します。「雨水浸透工法」と呼ばれるこれらの工法は、地下水の涵養や、都市型水害の軽減などに大きな効果を発揮します。

▲主な取り組み地区=昭島つつじが丘ハイツ（東京都昭島市）等

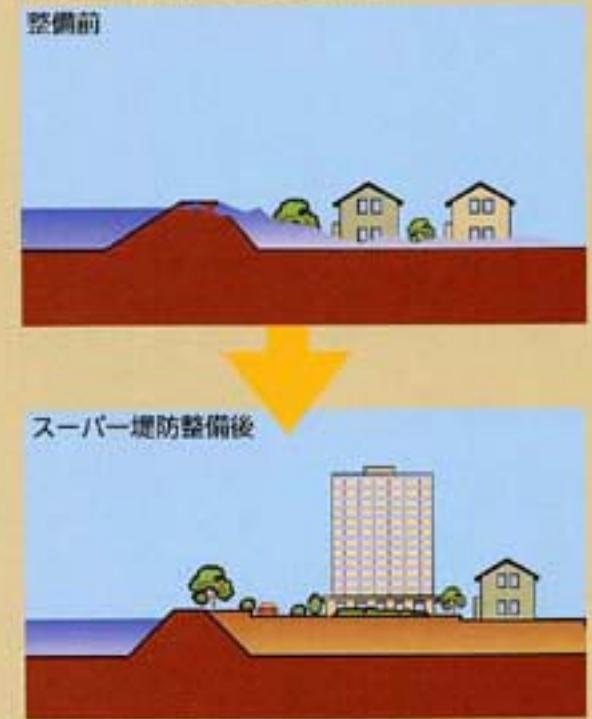


河川 ● River

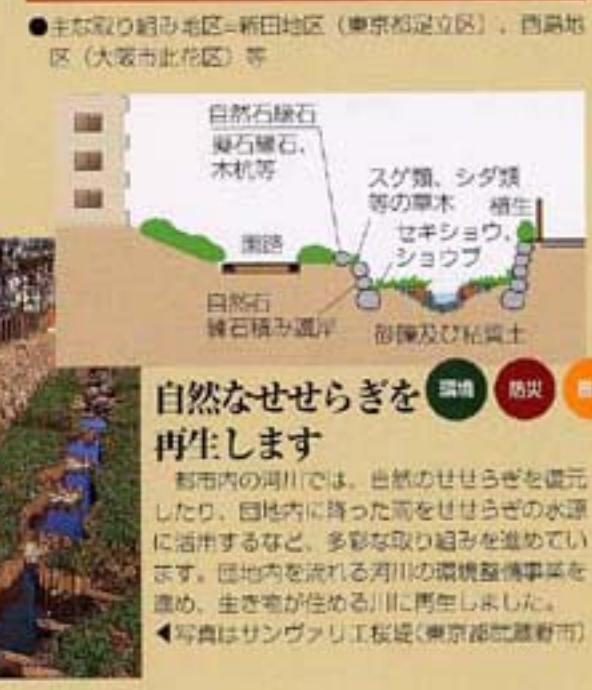
防災性の向上や潤いのある景観づくりに取り組んでいます

大都市圏を流れる大きな河川の流域では、スーパー堤防の建設と運動した基盤整備に取り組み、災害に強く、しかも美しいあるまちをつくりだしています。

整備前



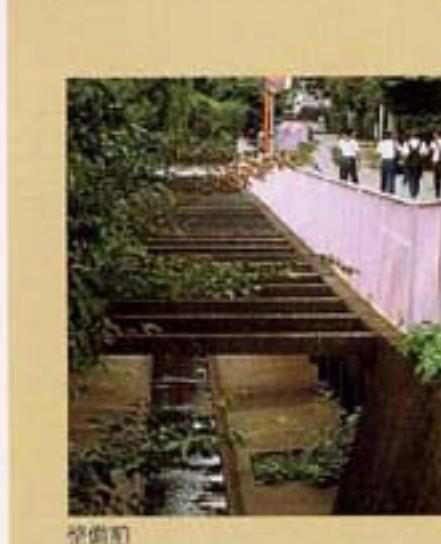
スーパー堤防整備後



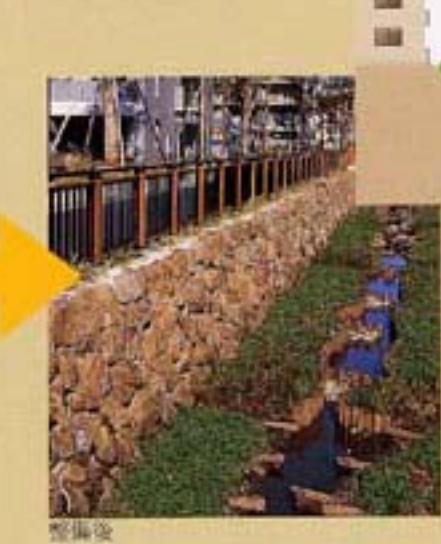
自然なせせらぎを再生します

都市内の河川では、自然のせせらぎを復元したり、周辺内に降った雨をせせらぎの水源に活用するなど、多彩な取り組みを進めています。団地内を流れる河川の環境整備事業を進め、生き物が住める川に再生しました。

▲写真はサンヴァリエ工桜堤（東京都武蔵野市）



整備前



整備後



水循環

特殊空間の
緑化

屋上緑化

河川浄化

ゴミ処理

地球の未来のために、身近なことから 環境問題に取り組みます。

公団では、早い時期から
環境との共生に取り組んできました。
環境への負荷を最低限に抑えるのはもちろん、
最近では新たな環境を創造したり、
自然エネルギーの利用にも
積極的に取り組んでいます。



駅前に誕生した緑の大空間

◀リブレ川口（埼玉県川口市）

国的研究所移転による空地を利用して、駅前広場や大規模公園の整備、商業・業務施設、都市型住宅の供給を行い、快適で潤いのある空間を創出しました。

環境

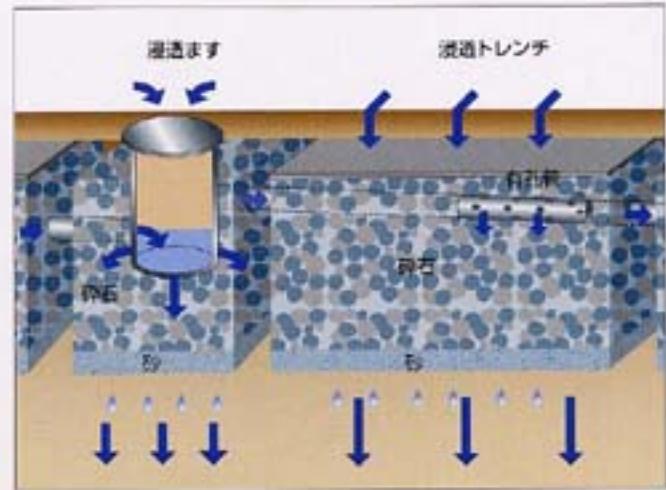
環境に配慮した
まちづくり

人工的に造られた都市では、雨水が地中にしみ込みにくく、自然の水循環が失われたり、都市型洪水が引き起こされるなど、さまざまな問題が起こりがちです。そこで公團では、雨水が地下に浸透する施設などを積極的に整備しています。

また、雨水を地下に貯留し、せせらぎの水源として活用する例も増えています。



せせらぎが復活した仙川



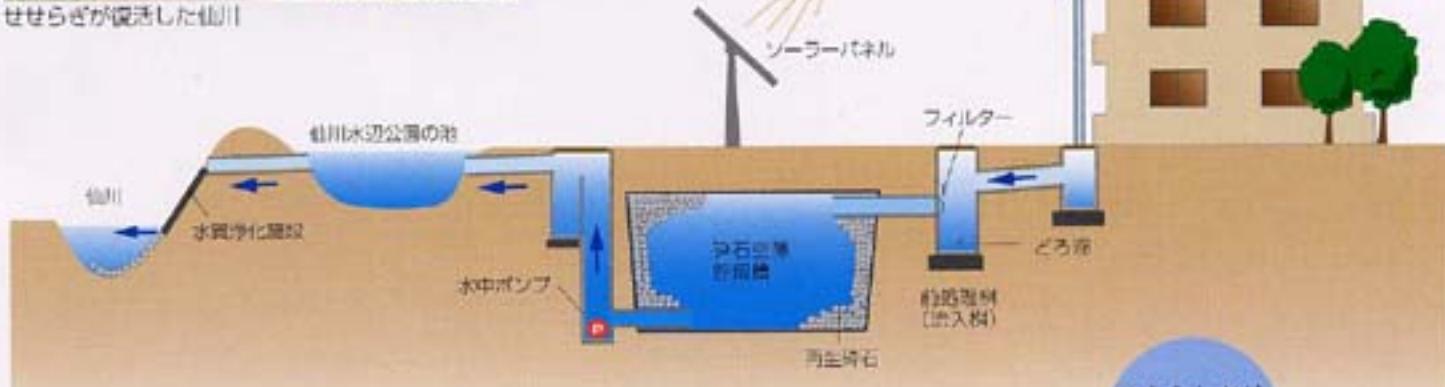
雨を地中に 浸透させる

雨水浸透施設は、各地で整備されています。地下水の涵養、自然な水循環、生態系・環境の保全、都市型の洪水を防止するなど、さまざまな効果があります。

雨とソーラーパワーが 大活躍

◀サンヴァリ工場（東京都武蔵野市）

団地の建設にあわせて、団地内を流れる仙川の改修にも着手し、自然の流れを取り戻しました。仙川に隣接する公園の池や仙川の水源には、団地内に降った雨水を利用しています。雨水は地下の貯水槽に貯められ、太陽エネルギーを動力としたポンプで汲み上げて流れの水源としています。



こんなしき
が隠されて
いるのね!



Ecological Life

人工的な空間を緑化し、ヒートアイランド現象を緩和する

幕張ベイタウン ミラリオ（千葉市美浜区）▶

人工地盤の上部を緑化。景観の向上はもちろん、ヒートアイランド現象の緩和などの効果を発揮しています。このように人工的な空間を緑化する事例は年々増え、屋上、駅傾斜護岸、人工地盤など、新たな緑の空間が誕生しています。



緑とコンクリートのリサイクル

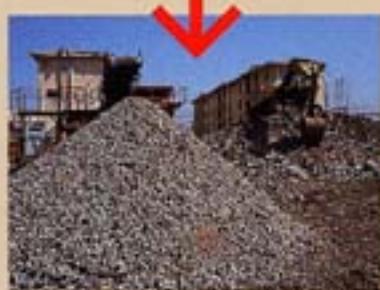
グリーンバンクシステム

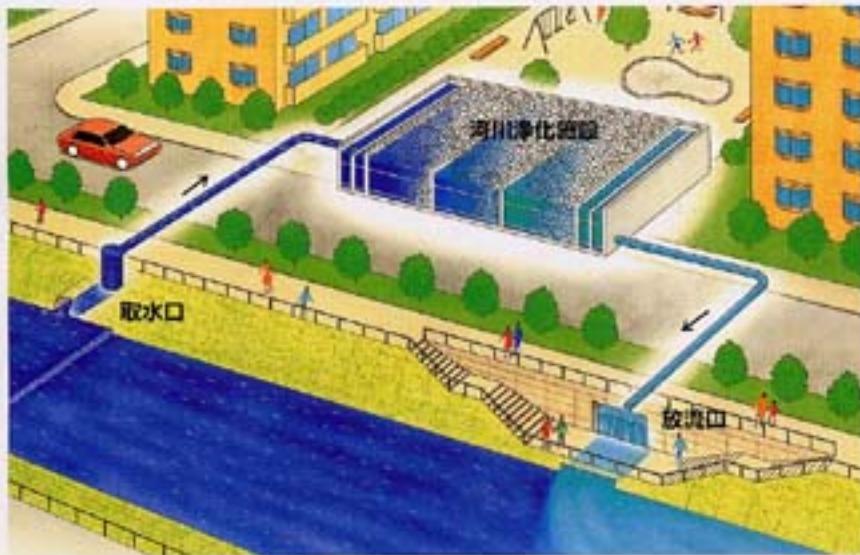
限られた緑を資産として有効に活用していくために、既存樹木の保存、移植、リサイクルを計画的に行ってています。



コンクリート塊のリサイクル

既存建物の解体によって発生したコンクリート塊を、現地で砂石などに再生し、透水性舗装などの充填材に計画的に利用しています。





河川浄化施設を一体的に整備し、 水景色も創出

プロムナード北松戸（千葉県松戸市）▲

旧鉄操車場跡地を再開発する際に、急務となっていた新坂川の浄化施設を千葉県が設置。公園はその上に公園や水と親しめる歩道、浄化水を利用した滝などを整備しました。

ゴミの減量と 有効活用を 実現

サンヴァリエ桜堤

（東京都武蔵野市）▼

集合住宅の住棟間に生ゴミ処理機を設置。生ゴミの大割な減量が実現しました。できあがった堆肥は市内の農家などで活用されます。



ディスポーザーシステム

アクティ三軒茶屋（東京都世田谷区）▼

台所流し台の排水口に設置したディスポーザーに生ゴミを投入して粉砕し、その排水を団地内で処理して公共下水道に流すシステム。





神戸新聞社提供

安心と寄り添った生活を実現するのも、私たちの仕事です。

災害は、いつ襲ってくるかわかりません。
神戸の悲劇を繰り返さないためにも、
災害に強いまちづくりは、
公團の急務だと考えています。
目指すのは、被害を最小限ににくい止め、
その後の復旧も早いまちづくり。
もちろん地域全体の防災拠点として
活躍することも大切です。



防災拠点

調整池

密集市街地整備

スーパー堤防

公園では、阪神・淡路大震災の被災地となった神戸における震災復興事業を通じて、防災に対するさまざまなノウハウを磨き、全国のまちづくりに反映させています。

たとえば、災害に強いまちづくりです。地下の雨水貯留槽に非常用水を確保したり、備蓄倉庫を設けるほか、災害時には情報の発信拠点や一時避難場所になるなど、地域の防災拠点として利用されることを目指しています。

一方、災害の危険性を未然に防ぐことも大切です。緊急自動車さえ入り込めない密集市街地の再整備や、水害を防ぐ調整池の整備などを通じて、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。



まるで震災対策博物館

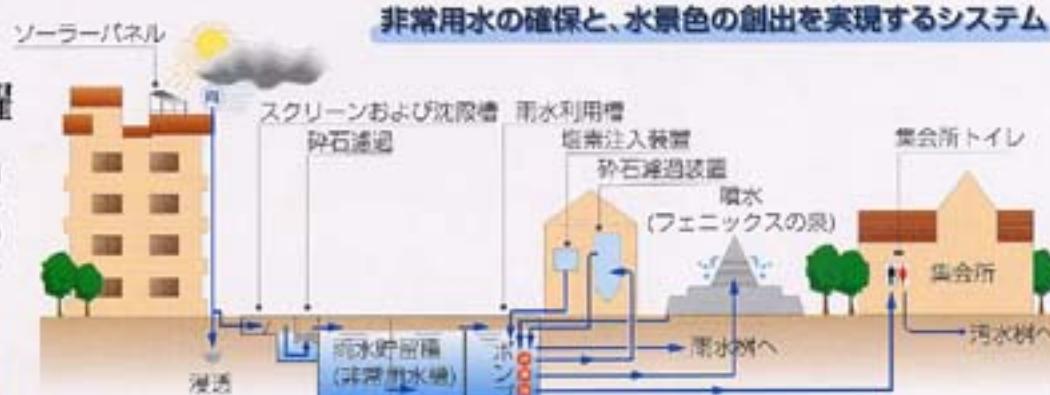
HAT神戸・鹽の浜（神戸市中央区）▲

住棟の間に防災アメニティモールを配置しました。地区内を東西に貫くこのモールは、避難路や延焼防止などの機能を持つほか、ふだんは計画場や玄関広場とともに、人々のコミュニケーションスペースとして活躍します。そのほか、防火水槽の設置、雨水貯留槽への非常用水の確保、手回しポンプの設置など、さまざまな面で防災機能を高めています。

噴水の水源が いざという時に大活躍

ルゼフィール井吹台（神戸市西区）▼

雨水を集め地下に貯留し、普段は噴水の水源や集合所のトイレなどに利用しています。浄化された水も常に蓄えているので、いざというときに水不足になることもありません。



Disaster Prevention

再生砕石を利用した 締め固め工法

コンフォール南浦和（さいたま市南区）▼

この団地では、基礎となる地盤が軟弱で、地震の際に液状化などの恐れがあるため、地盤改良工事を行いました。

改良工事にあたっては、再生砕石を利用した、低騒音、低振動の締め固め工法が採用されました。この工法は、衝撃や振動により砕石を地盤中に圧入して、机を形成させるものです。

工事で使った再生砕石は、建替に伴う建物拆除により発生したコンクリート塊を利用したもので、現地に据え付けた再生プラントで造りました。

この改良工事により地盤がしっかりとされたのはもちろん、リサイクルの推進や廃棄物の削減、コストの低減といったさまざまな効果がありました。



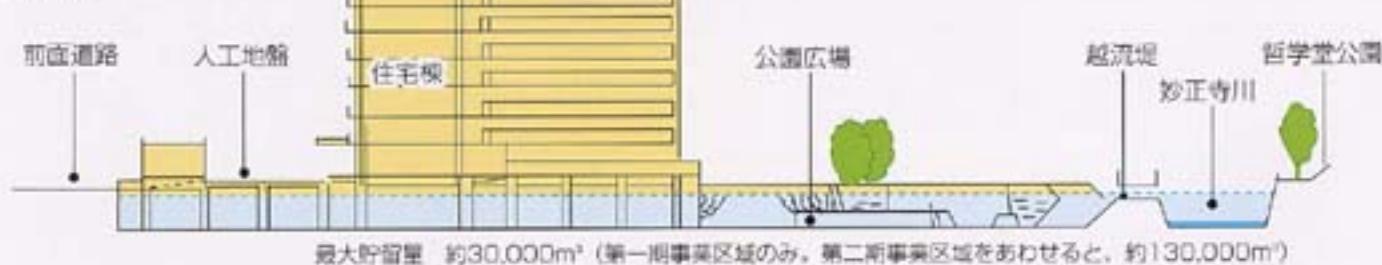
都市型水害の軽減に大活躍

◀哲学堂公園ハイツ（東京都中野区・新宿区）

妙正寺川の水位が上昇すると、越流堤から、ふだんは公園や田地のピロティ（柱だけの空間）になっている調節池に水が流れ込みます。池にたまつた水は、時間をかけて下流部から少しずつ排水されるので、川の水があふれて洪水になることを防ぎます。



断面図



木造住宅が
密集していたまちを
安全なまちに
造りかえる

◀東大利スクエアタウン（大阪府寝屋川市）

木造住宅などが密集していたこの地域は、構造面の問題や、証券の危険性、緊急自動車の進入困難といった防災面での問題を抱えていました。公園では、市や民間の家主さんと協力しながら、安全なまちづくりに取り組みました。



Disaster Prevention

防災

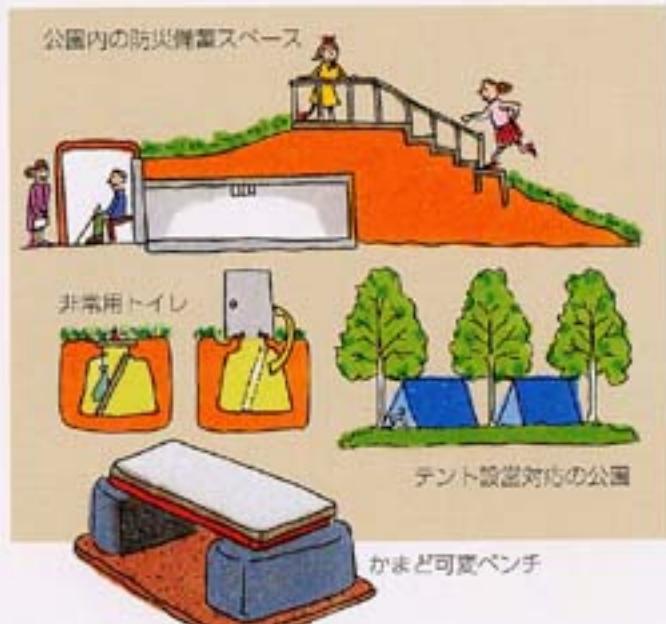
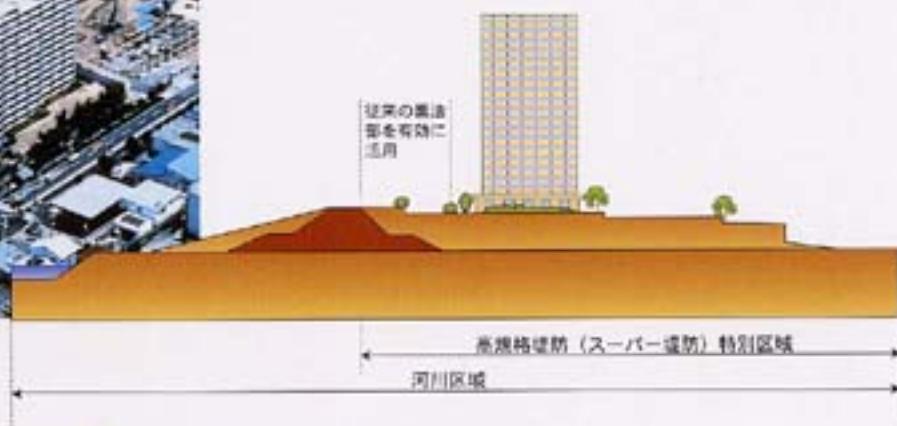
防災性
向上のための
まちづくり



都市を水害から守る

西島リバーサイドヒル（大阪市此花区）

我が行ラスバーティー堤防整備事業にあわせて、堤防沿いの既成市街地の再整備に取り組みました。公園は高層・中層住棟を建設したほか、住棟の地下に駐車場を設け、土地の有効利用を実現しました。



災害時は地域の防災拠点に

コンフォール鶴間ライラック通り（神奈川県大和市）

災害時に、安全を一時的に確保できる避難拠点となることなどを目指して、災害に強いまちづくりが進められています。団地内や北側に隣接される公園に、さまざまな防災対策が取り入れられています。

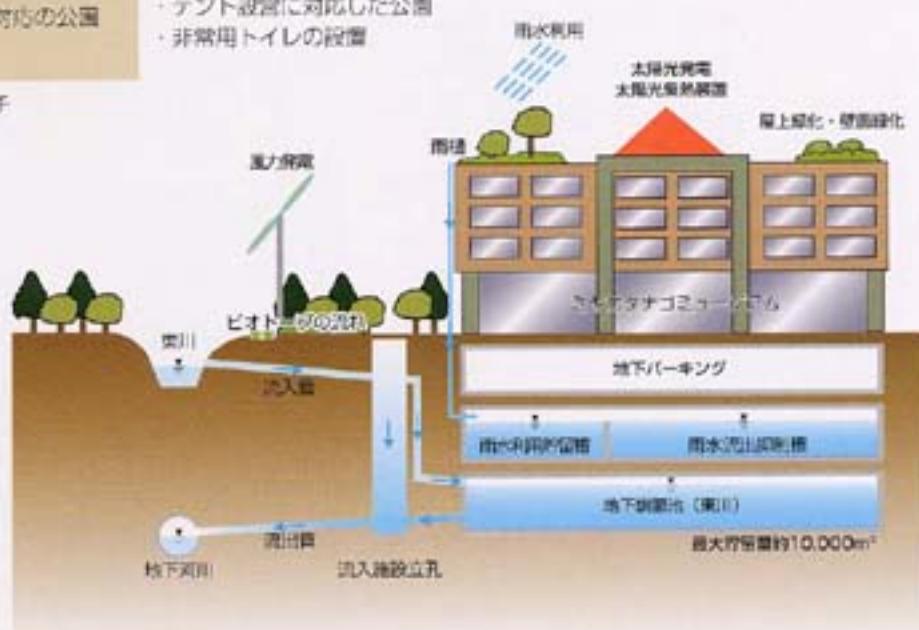
[主な防災対策]

●団地内

- ・集会所に防災備蓄倉庫を設置
- ・外周部に耐火樹を植栽
- ・附帯型受水槽

●公園

- ・防災備蓄倉庫の設置
- ・防災用井戸の設置
- ・テント設営に対応した公園
- ・非常用トイレの設置



建物の地下に 調節池を整備

所沢元町北地区（埼玉県所沢市）▶

再開発にあわせて、一級河川東川の洪水対策として、建物の地下に調節池を設け、周辺の治水機能を高めます。

また、敷地内には流入施設が設けられ、調節池は流入施設を通じて東川の地下河川に接続されます。

整備にあたっては、河川施設と建物の複合利用が可能な立体河川制度の適用を受け、平成19年度の竣工を目指して計画が進められています。



バリア
フリー

車寄せの
設置

障害者用
駐車場

誰もが暮らしやすいまちには、
やさしい“しがけ”がいっぱい。

かつてない勢いで
「高齢化」が進んでいるいま、
バリアフリーという考え方が、
まちづくりの大切な課題になっていきます。
段差などの物理的なバリアはもちろん、
心のバリアも取り除き、
高齢者、障害者を含むすべての人々が
家庭や地域の中で普通の生活を
送ることができる。
そんな優しさに満ちた
まちづくりに取り組みます。



高齢化

高齢社会に
対応した
まちづくり

駅などの交通の結節点や公園、高齢者対応の福祉施設、地域の施設など、高齢者が多く利用する場所を、安全な通路のネットワークで結びます。もちろん通路の段差をなくすために、ゆるい勾配のスロープを設けるなど、極力平らで車椅子でも安全に通行できることが必須条件です。立体的にならざるを得ない場所では、エレベーターなども併設します。

また、通路の素材にまで配慮します。滑りにくく、つまずかない舗装材、透水性が高く、水が溜まらない舗装材などを用います。

さらに、高齢者の身体的特性に配慮した大きくてわかりやすい案内表示や、障害者専用の駐車場、誘導ブロックの配置などにも配慮します。



シニア住宅と
一般住宅を
一体的に整備した、
バリアフリーな
まちづくり

◀ボナージュ横濱（横浜市都筑区）
一般向けの住宅とシニア住宅、関連施設を一体的に配慮。地区の中心にはさまざまな世代が出会う広場を設けました。また、高齢者の移動を考え、スロープや屋外エレベーターなどを設置しています。



安全と安心を与える バリアフリーサポート

◀アーベイン姪前駅前（福岡市博多区）

すべての部屋が高齢者の生活に配慮されています。市の複合施設「さざんびあ博多」（デイサービスセンター、図書館、体育館など）も併設されているため、誘導ブロック、段差解消はもちろん、デイサービスセンターの正面には専用の車寄せが整備されています。

Barrier Free

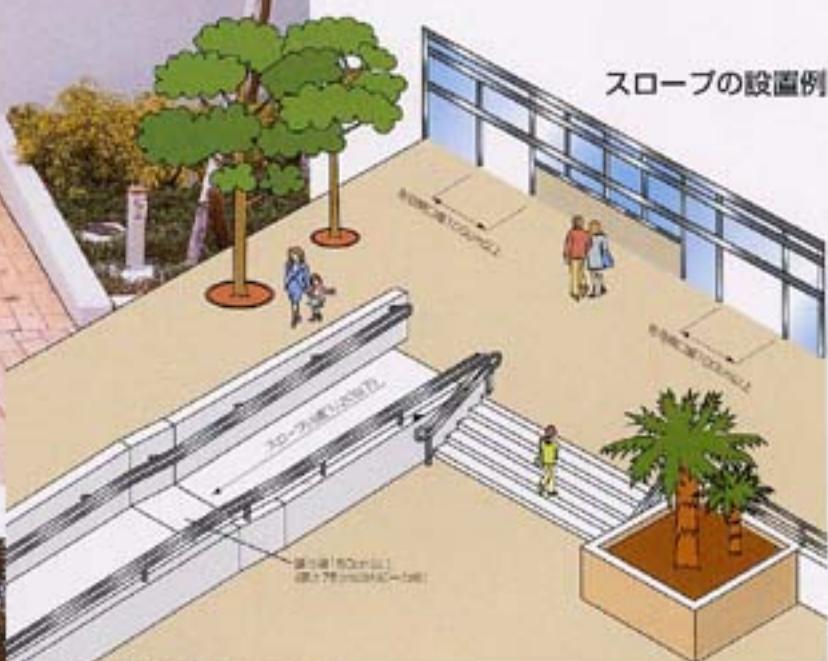
段差なしで移動できる バリアフリーなまち

◀HAT神戸・臨の浜（神戸市中央区）

段差のないスロープで住棟に行けるよう配慮しているほか、駐車場を住棟の北側に配置（障害者用駐車場も完備）し、人と車を分離しました。



スロープの設置例



誘導ブロックの ネットワーク

◀キャナルタウンウエスト
(神戸市兵庫区)

駅前から施設や住棟などを結んで、視覚障害者用の誘導ブロックが設置されています。バリアフリー対策も万全なので、安心して移動することができます。

Barrier Free

高齢化

高齢社会に
対応した
まちづくり



エレベーター設置により 段差なしで楽々移動

◀武蔵浦和駅前（さいたま市南区）

デッキ橋上全体に縁を配置し、エレベーターを併設することにより快適な歩行者ネットワーク化を図ります。

勾配に配慮した橋

ヴェッセル木場南「しおかぜ橋」（東京都江東区）▶

しおかぜ橋は、運河とJRの複路をまたぐ歩行者・自転車専用橋です。総延長は574.1m（うち橋梁延長は450m）に及び、勾配が急な部分にはループを採用するなど、誰もが安全に利用できるよう、さまざまな工夫がされています。



デイサービスセンターの入口に 専用駐車場を確保

◀アーベイン鍾乳園駅前

（福岡市博多区）
市のデイサービスセンターなどの近くに、障害者の乗り降りに配慮した専用の駐車場を確保しています。



障害者用駐車場の設置例





にぎわいの
景観

歴史を語る
景観

アートの
ある景観

水辺の景観

四季のある国にふさわしい美しさと、
みなぎる活気が、
まちの個性をほぐくみます。

春、夏、秋、冬がはっきりとしているからこそ、
もっと際だたせたい。
脈々と受け継がれてきた地域の歴史を、
次代へと伝えたい。
まちづくりに携わる者たちの思いと行動力が、
美しくも個性的な景観を創りだします。



まるで美術館のようなまち

◀ファーレ立川（東京都立川市）

地区内にさまざまなストリート・アートが配置され、まちの個性を演出しています。

景観

良好な景観
形成等に
美しいまちづくり

まちの美しさは建物のデザインだけでは完成できません。まちづくりの計画段階からさまざまな検討が重ねられます。

たとえば、その地域らしさの演出です。ウォーターフロントのように、土地がもともと魅力を持っている場所では、その魅力をさらに高めることを目指して都市基盤施設を整備します。また、歴史や伝統が色濃い場所では、歴史的建築物を再現したり、都市基盤施設の細部に歴史的なデザインを取り込むことにより、美しくも個性的な景観を生み出します。“新生”を強く意識した都市では、ストリートアートの導入などにより、新たなまちづくりストーリーを生み出します。



散歩が楽しい街路を整備

シーリアお台場（東京都港区）▲

お台場海滨公園に面したウォーターフロントにある集合住宅では、住宅と一緒に歩きやすい街路を整備。美しい街路は観光スポットとしても活躍しています。

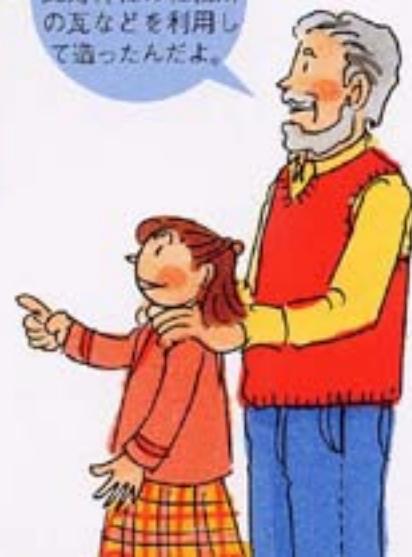


ふるさとの伝統を語り継ぐ景観

◀アーベイン東比恵駅前（福岡市博多区）

文化遺産ともいえる「博多塀」を復活させ、そのデザインをコミュニティの軸となる「博多の路」の隠所にあしらいました。

この塀はね、
改築した十日恵
比寿神社の社務所
の瓦などを利用し
て造ったんだよ。



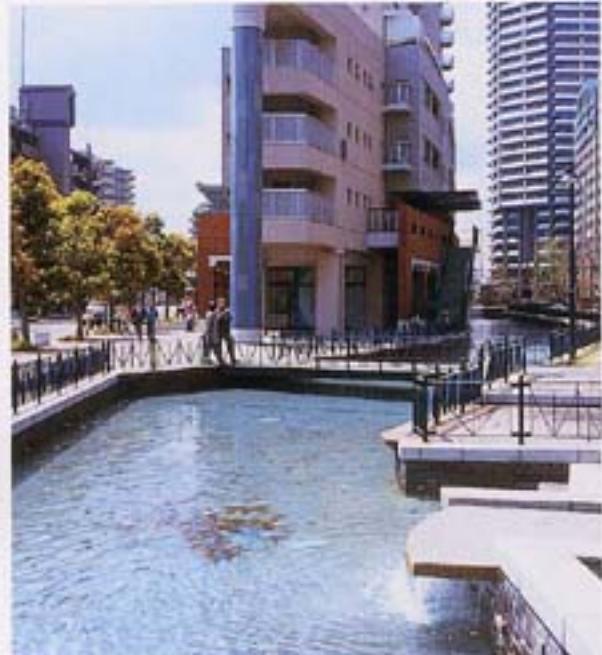
Fine Scenery



ヨコハマらしさを 大切に

◆ピューコート小港（横浜市中区）

運河との親水性を高めるため、モニュメントを配置したボードウォークを整備し、水辺の魅力を生かした空間づくりを行っています。



運河のあるまちなみを創出

キャナルタウンウエスト（神戸市兵庫区）▲

貨物駅の跡地を利用したニューシティ。運河のある風景を創出しました。元々貨物駅のターンテーブルに使われていた石や、貨物駅に使われていた鉄柱などがモニュメントとなって地域の歴史を残り残しています。



いつでも日曜日の ようなまち

恵比寿ガーデンプレイス（東京都渋谷区・目黒区）▶

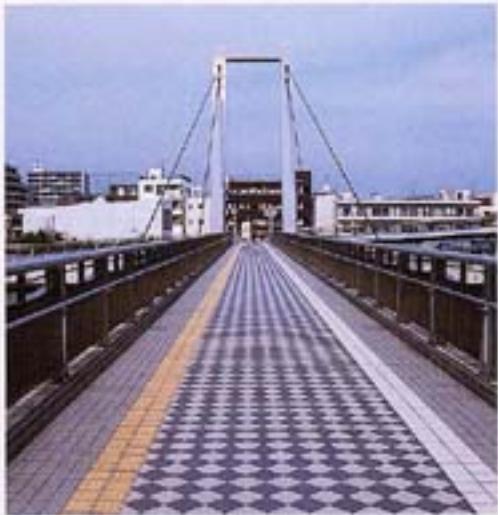
山手線に隣接した大規模な工場跡地に、住宅をはじめオフィス、ホテル、商業施設などから構成される都市が誕生しました。民間事業者等との共同事業により生まれたこのまちは、人々が集い憩う“にぎわい”的場となっています。



Fine Scenery

景観

良好な景観
形成等に
美しいまちづくり



運河に架かる散歩道

▲ヴェッセル木場南（東京都江東区）

しおかぜ橋と呼ばれるこの橋は、運河と鉄道をまたぐ歩行者・自転車専用橋です。斜張橋やアーチ橋、ループ橋など、さまざまな橋で構成されています。



青い水辺に生まれた憩いの空間

▲リバーシティ21大川端（東京都中央区）

緑蔭斜堤防を緑化スペースとして活用。川沿いの散策路も設けられ、美しいウォーターフロントを形成しています。



100以上の作品が並ぶ 美術館シティ

▲ファーレ立川（東京都立川市）

ファーレ立川の109ヶ所に設置されているストリートアートは、36カ国92人のアーティストによるもの。アートの多くは、換気口や排気道、ベンチ、サイン、街灯、車止め、散水栓などの機能を兼ね備えています。

高度情報化

高度情報化に
対応したまちづくり

電柱のないまちづくり

電力、ガス、水道、通信などの施設は、生活に欠かせないから“ライフルライン”とも呼ばれます。こうした大切な施設を道路の下などにまとめて収容するのが共同溝です。「ライフルラインが通る地下トンネル」といった方がわかりやすいかもしれませんね。

共同溝は、災害からライフルラインを守るほか、電柱がいらなくなるので道路や通路を広々と使え、まちの景観が向上したり、道路を掘り返す工事が減って渋滞も緩和されるなど、さまざまな効果があります。



共同溝の内部



▲ファーレ立川（東京都立川市）

最良のパートナーシップのもと、魅力あるまちづくりを進めます。

これから公団では、市街地の再開発や、密集した市街地の整備、賃貸住宅の建て替え、工場跡地などの有効利用など、既成の市街地を安全で快適なまちへと造りかえる「都市の再生」に取り組んでいきます。

これらの事業に取り組む際には、これまでに培ってきた技術力やノウハウを駆使するのはもちろん、自治体や民間の事業者と協力しあいながら、豊かな都市生活の提供を実現していきます。

また、対象となった地区だけの整備にとどまらず、地域全体の居住環境を向上させることを目指しています。

その一方で、都市の再生には公団の土地や、事業に先駆けて取得した土地を、効果的かつ効率的に活用することもとても大切です。たとえば、多くの人から求められている良質な賃貸住宅を供給したり、民間事業者に住宅や施設用地を供給することです。さらに、周辺の木造住宅が密集している地域に住んでいる方や、道路整備により移転する方のための「受け皿住宅」の確保、移転用代替地としての活用も考えられます。さらに、将来、有効な用途に利用できる土地の確保も進めていきます。

公団のコーディネート業務

居住環境の悪化や、公共施設整備の遅れ、地域の活力低下など、都市ではさまざまな問題が山積みになっています。こうした問題は、複数の地方公共団体が関連していたり、対応に長い時間を必要とするなど、解決には専門的なノウハウを必要とします。

そこで公団では、まちづくりの豊富な経験と、コーディネーターとしてのノウハウを注ぎながら、地方公共団体や民間事業者の皆さんとともに、問題の解決に取り組んでいきます。

地方公共団体との共同のもと、地元とのまちづくり協議や住民意向調査を実施します。

地区の一部低未利用地を先行取得します。

Coordinate

事業計画の策定や、準備組合の設立といったコーディネートを行います。

地方公共団体に、街区再編などの方向を提案します。



取り組み事例 ①

密集市街地の再開発

神谷・豊島地区（東京都北区）

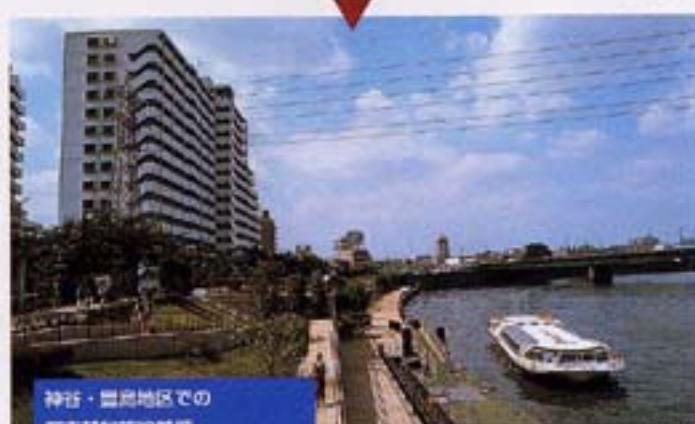
隅田川に面した神谷・豊島地区は、住宅と工場が混在する地域でした。また、住宅が密集していたため、環境・防災上での問題を抱えていました。公団では、これらの問題を解決すべく、都市基盤施設などの整備に取り組みました。



整備前（昭和40年代）



整備中



整備後

神谷・豊島地区での
都市基盤施設整備

- ・高層住宅街の整備
- ・緊急車道の整備
- ・街区公園の整備
- ・文庫の改修

これからの都市基盤整備とまちづくり

JR尼崎駅前地区
整備前空撮
(昭和56年1月)



整備後



取り組み事例 ②

駅前広場と周辺市街地を 一体的に再開発

JR尼崎駅前地区（兵庫県尼崎市）

交通の結節点かつ兵庫県の東玄関である尼崎。好立地を活用し、駅前広場や網路、都市型住宅、ショッピングモール、公益施設などを整備しました。誕生した新たな都市誕生は、「Aming(Amagesaki+humming)瀬江」と名付けられ、多くの市民に親しまれています。



取り組み事例 ③

スーパー堤防の整備と並行した市街地整備

新田地区（東京都足立区・北区）

スーパー堤防と市街地を
一体的に整備する事例。スーパー
堤防は、都市を洪水から守
る一方で、その上部を住宅地
などに利用できる、まさにス
ーパー堤防です。

荒川と隅田川ではさまれた
この地域では、工場と住宅地
が密集していたこともあり、
護岸や防火面での不安が顕在
化していました。そこでス
ーパー堤防の整備にあわせて、
住宅や公営施設、公園などの
整備を行っています。整備は
国と公営、東京都が共同して
進めています。



いろいろな
まちづくりに
取り組んで
いるんだね！



What's Future?

たゆみない研究・ 技術開発を続けていきます —技術センターのご紹介

身の回りのさまざまなものが進化するように、まちづくりの技術もどんどん進化しています。公園では、都市開発が盛んになる前の昭和38（1963）年に試験研究場を設け、集合住宅を中心に、まちと住まいづくりの技術を研究・開発してきました。

施設や研究の成果は公開され、来場者の体験や研修を通じて、日本の住まいとまちづくり技術の向上に貢献しています。

集合住宅に関するこうした総合的な研究施設は、世界にも類を見ないものです。

研究内容

技術センターでは、構造、材料、住宅性能、住宅設備、屋外施設など、さまざまな面から研究・技術開発に取り組んでいます。ここでは、都市基盤施設と関わりの深い「環境共生ヤード」をご紹介しましょう。

環境共生実験ヤード

Environment Conscious Experimental Yard

ピオトープ

都市型住宅地に生物の生息空間（ピオトープ）の創出を図るために緑化技術や、管理方法を実験・研究しています。



透水性・保水性舗装

透水性舗装は、雨水を直接地中に浸透させ、雨水の流出を抑えたり、地下水の調節などに役立つとともに、雨の日でも歩きやすい舗装です。一方、保水性舗装は細かい隙間があり、雨の日には雨水を保水し、晴れた日に、少しずつ水分を蒸発させます。気化熱により温度を低減する効果が期待されています。



緑化広場・露車

つる性植物による壁面緑化や、屋根の緑化、駐車場の緑化舗装、樹木チップによる舗装、風力・ソーラー発電などを試験・研究しています。身近な場所でのエコアップや緑化による効果を検証したり、植物の生育比較実験を行っています。



屋上緑化

断熱効果や、景観の向上など、さまざまな効果がある屋上緑化についての研究・技術開発に取り組んでいます。（屋上に設置されているのは実験用ソーラーパネル）

こんな研究も行っています。

土木構造物の液状化対策

阪神・淡路大震災をはじめとする過去の大きな地震の際に、地盤の液状化が発生し、電気、ガス、水道などのライフラインや都市基盤に甚大な被害がもたらされました。公園では、液状化対策実験を行い、「再生砂石ドレン工法」を確立しました。この工法は地中の土木構造物の周りを建設副産物である再生砂石で補強するもので、防災と資源のリサイクルを兼ねた画期的な工法です。



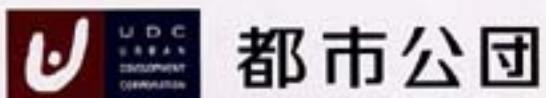
地道な研究の
成果がまちづく
りに生かされて
いるのね。



技術開発の歴史

管理開始年月	対象区域名	所在地	主要技術内容
昭和30年代	昭和31年4月 金河団地	大阪府堺市	公園第1号区域
	昭和35年9月 前瀬団地	千葉県船橋市	軟弱地盤造成(1号)(サンドコンパクション採用)
	昭和37年10月 滝平子園団地	兵庫県西宮市	大规模盛土造成、地盤改良工事第1号
	昭和37年12月 草加松原団地	埼玉県草加市	汚水処理場(活性汚泥法)、低床花壇(管理面防災工事)
	昭和39年1月 花柏団地	東京都足立区	地盤改良、サーチャージ工法の導入、汚水にサイフォンを採用
	昭和39年4月 墨田季台団地	千葉県柏市	汚水処理場(散水ろ床式処理)
	昭和39年4月 公田町団地	神奈川県横浜市栄区	宅流水第1号区域
昭和40年代	昭和40年11月 桑立富士見台団地	東京都国立市	雨水浸透施設(井戸式)
	昭和41年4月 犬走団地	埼玉県春日部市	地盤改良工事および高入渗土造成
	昭和41年10月 高幸め団地	千葉県千葉市緑区	調整池(低床花壇導入第1号)
	昭和43年9月 花見川団地	千葉県千葉市花見川区	造成工事、高架水槽、調整池、構外排水路(トンネル)
	昭和48年3月 箕面如意谷(第一)	大阪府箕面市	危険斜坡造成
	昭和48年4月 んまと団地	埼玉県三郷市	構造土造成、汚水処理場(SD方式)、多目的調整池(多段式)
昭和50年代	昭和50年3月 鶴ヶ丘団地	東京西八王子市	造成工事(岩盤掘削)、系桿保全型調整池
	昭和50年3月 保見団地	愛知県豊田市	岩盤造成と大規模防護工(法作工)
	昭和50年12月 車返団地	東京都府中市	土砂搬入(仮設堤)、鉄道立体交差
	昭和51年3月 花山東団地	兵庫県神戸市北区	ループ堤、大规模地盤造成、高架水槽、斜行エレベーター
	昭和52年1月 四箇田団地	福岡県福岡市早良区	複合機能の下水道計画(農業利水、治水)
	昭和52年3月 芝山団地(城山渓)	千葉県柏崎市	汚水処理場(中水道システムの初導入)
昭和53年	昭和52年3月 北砂五丁目市街地住宅	東京都江東区	自走式立体駐車場(RC)
	昭和53年12月 ひよどり団地	兵庫県芦屋市北区	岩盤造成(仮設使用)
	昭和54年3月 船塚1丁目団地	東京都江戸川区	汚水処理場(PCT方式導入第1号)
	昭和54年3月 武庫川団地	兵庫県西宮市	下水管渠(強化プラスチック管)、筋による土砂搬入、埋深調査
	昭和55年3月 ポートアイランド	兵庫県神戸市中央区	ブレイロットとの重ね合わせ(受水槽)、サーチャージ工法
	昭和56年3月 グリーンヒル吉田	東京都八王子市	造成工事(底土計画:エンブース・エメスの利用)、系桿保全型造成
昭和57年	昭和56年3月 寝息つづじが丘ハイツ	東京都昭島市	雨水渗透施設(散水式)、カーブ堆積(φ3,250)
	昭和57年8月 新宿リバーサイド	埼玉県新座市	道路家庭警報防止対策(深層浸合埋井工法)
	昭和57年12月 せんげん台パークタウン	埼玉県越谷市	築堤家庭警報防止対策(シートウォール)、砂石空隙防護構造物
	昭和58年3月 サニータウンにれの木舎	千葉県千葉市花見川区	地下水加圧シールド(公共下水道)
	昭和58年3月 元が丘パークタウン	東京都狛馬区	ピット式駐車場(ピットのPO化)、人工地盤、歩道橋
	昭和58年3月 品川ハ湖パークタウン	東京都品川区	機械式駐車場(第1号)、八脚橋(8字橋)
昭和59年	昭和58年4月 グリーンタウンの里	神奈川県厚木市	岩盤造成(突続埋削)、公共下水道压送方式(中経ポンプ)
	昭和59年3月 小山田桜台・もみじ台	東京都町田市	土壤透、コミュニティ溝渠(もみじ台)
	昭和59年4月 久喜パークタウン(久喜本郷)	埼玉県久喜市	敷地地盤対策(バーチカルドレーン、DLM、サーチャージ)
	昭和60年6月 木場三丁目パークハイツ	東京都江東区	野木場の埋立と調節泵場(サイレントバイラーエフ)
	昭和60年10月 学園鶴丘	兵庫県神戸市垂水区	者蓋造成、都市計画道路(W=36.24m)、河川改修、法面有効利用(公害)
	昭和60年12月 堀子丸山台ハイツ	神奈川県横浜市磯子区	免耕斜坡奉業
昭和61年	昭和61年9月 皆生学園ハイツ	東京都練馬区	調整池(多目的遊水池奉業)
	昭和62年3月 ロビンシティ相模大野5番街	神奈川県横浜市港北区	自走式立体駐車場(PC)、ソーラーシステム利用の導入
	昭和62年12月 松伏ニュータウン	埼玉県北葛飾郡松伏町	区画整理事業の受託(盛土工法・多目的調整池・風景等)
	昭和63年4月 リバーシティ21(大川端)	東京都中央区	ウォーターフロント開発(桟橋斜傾岸)、人工地盤
	昭和63年6月 グリーンアベニュー音楽	埼玉県草加市	住居街区整備奉業、住棟地下貯留
	昭和64年6月		
平成元年~	平成元年3月 磐子杉田台	神奈川県横浜市磯子区	道路トンネル、シオテキスタイルによる高盛土、調整池の複合利用(箕会所)
	平成元年3月 港北ニュータウン	神奈川県横浜市都筑区	市営地下鉄との立体施工(上部機械式駐車場)
	平成元年3月 メゾンルミのき台	大阪府高槻市	多目的調整池(蓄水利用公開)、砂防斜坡、斜面住宅
	平成元年3月 高槻阿武山	大阪府箕面市	砂防斜坡、公園調整池
	平成元年3月 ル・ナス武西の森	横浜市鶴見区	ウォーターフロント開発(スーパー堤防)、人工地盤
	平成元年7月 シーサイドももち	東京都墨田区	PC壁体による土留工法、人工地盤(駒前広場)
平成元年~	平成元年11月 リバービア香表橋	愛知県豊明市	スロープ式二層駐車場
	平成元年11月 パルヌス前後	東京都足立区	横外排水統計策(シールド・推進工法)
	平成2年3月 竹の庭第一団地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区	エレベータ底タワー・バーチング
	平成3年12月 ピューコート公園	埼玉県川口市	団地内コンクリート塊リサイクル
	平成4年3月 リブレ川口2番街	神奈川県横須賀市	地盤造成(鉄筋破工事)、調整池(ため池兼用)
	平成4年4月 相模大野団地	愛知県豊田市	立体道路斜面の適用(赤道通路上部への住宅建設)
平成5年~	平成5年~乙ヶ丘五地区	埼玉県和光市	保水性舗装(保水性カラーミック)
	平成6年3月 デュプレ西大和	横田浜横浜市東区	セミシールド工法、分水路計画
	平成6年6月 アーベインルネス貝塚	京都府京都市西京区	高速過高機、NATOM工法、民間との共同開発
	平成7年2月 京基西郷橋御陵坂	神奈川県横浜市金沢区	多根筋型斜壁(非常用水、修復施設の水源、トイレ洗浄水など)
	平成7年4月 ピーコンヒル柏見台	兵庫県神戸市西区	再生砂石を利用した低延命、低振動の練め固め工法
	平成9年5月 ルゼフィール井吹台	埼玉県さいたま市北区	水道接続整備(仙川)、雨水利用、コンポスト
平成11年~	平成11年2月 コンフォール南浦和	東京都武蔵野市	標準配慮型汚水処理場(二槽式雨水曝気法、砂ろ過法、構外接減圧)
	平成11年10月 サンヴァリエ桜堤	千葉県流山市	地下鉄の埋め廻し(波動化処理土を填工法)
	平成11年12月 アルビス前原	神奈川県横浜市保土ヶ谷区	公認直接施行制度による街路整備
	平成12年10月 コンフォール明神台	東京都品川区	ディスポーザーシステム
	平成13年8月 オーバルコート大森ビューブラザ	東京都大田区	都市計画道路のアンダーパス(鉄道との立体交差)
	平成14年3月 アクティ二井茶屋	東京都世田谷区	建物内材質の分別解体・回収
平成14年~	平成14年11月 大泉学園ゆめりあタワー	東京都練馬区	
	平成15年3月 三鷹台	東京都三鷹市	

— 美しく安全で快適なまちをつくります —



都市公団

都市基盤整備公団

技術監理部 技術管理課

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1

横浜アイランドタワー

TEL:045-650-0675 FAX:045-650-0666

<http://www.udc.go.jp>